



道徳だより



本校では今年度「希望と勇気、努力と強い意志」を中心に道徳教育を推進していきます。学校の教育活動の全てを通して行われるのが道徳教育です。毎週1時間行われる「道徳の時間」では子どもたちが日々の生活の中で体験したこと自分とのかかわりの中で深めていきます。この道徳便りでは、道徳の時間などの子どもたちの様子をお伝えしていきます。

ご家庭でも保護者の方々と子どもたちが一緒に考えたり話し合ったりして、子どもたちの豊かな心の成長に役立てていただきたいと思っています。よろしくお願ひいたします。

道徳の時間の様子 2年生「ほんたとかんた」よいこととわるいこと

よいと思うことを自分で考えて実行すると、やってよかったとすっきりとした気持ちになることを理解し、自分でよいと思うことを行おうとする気持ちを育てることをねらいとして学習しました。

登場人物のほんたは友達のかんたに裏山で遊ぼうと誘われます。裏山は危ないから行ってはいけない場所ですが、友達の誘いにのるか、約束を守るかの判断に揺らぐほんた。

授業では、ほんたの揺れ動く気持ちに共感させながら、その時の気持ちを考えました。「自分だったら～します。」と考えている子もたくさんいました。授業の最後には、よいことをすると、「気持ちがすっきりする、周りの人も自分も安全に過ごせる」など、よいことを進んで行うことのよさに気付くことができている様子でした。



子どもたちのノートや発言より

- ・よいことをすると気持ちがすっきりすると分かりました。これからはよいことをたくさんしていきたいと思います。
- ・今までに悪いと分かっていてもしましたことが何回もあったけど、これからはよいことをたくさんしていきたいと思いました。
- ・よいことをすると安全に過ごせるし、周りの人も笑顔になると思いました。これからはよいと思うことをすすんでしていきたいです。
- ・もし悪いことをしそうになってしまっても今日の授業で習ったことを思い出したいです。よいことをたくさんして、悪いことをしそうになっている人がいたら止めたいです。